



昨年暮、高血圧治療ガイドライン2004が発表され、推奨される血圧の目標値が130/85未満とされた。心不全、脳卒中、痴呆さらに寝たまりの予防のために血圧をコンまで下げないと効果が少ないという。全死亡原因の一位は癌であるが、高齢者に限れば死因のトップは脳卒中である。しかし脳血管障害、痴呆の防止に高血圧の治療だけがいいのかといえばNOである。それではどのような予防法があるか考えてみよう。

脳卒中の大半を占める脳梗塞は、その発症原因から次のように分類される。

- ① ラクナ梗塞(ラクナとはラテン語で小さな空洞という意味): 1cm程度の小さな脳梗塞で、ほとんどが無症状。脳ドックなどで偶然見つかることが多い。
- ② アテローム血栓性梗塞: 脳動脈硬化による血栓性梗塞で、片麻痺が発症することが多い。
- ③ 心原性脳塞栓: 高齢者に急増している心房細動におよぶ。心腔内に血栓が発生し、その血栓が主幹脳動脈を閉塞し発症する広範囲梗塞。

①②はどちらも動脈硬化への対策が重要で、

そのためには糖尿病、高脂血症の治療と禁煙がキーポイント。③への対策は抗凝血療法を続けること。

④動脈-動脈塞栓症: 最近注目されてきた脳梗塞である。動脈硬化が進んだ頸動脈の内壁に傷がつくと、その修復機転でプラークという凝血塊ができる。この凝血塊が外れたり、石灰化したプラークに接着した血栓が脳動脈に飛んで脳塞栓を引き起こす。

精密な超音波検査装置で丹念に頸動脈を検索すると高率にプラークが発見される。血圧が不安定な高血圧症患者、糖尿病罹病歴の長いと、喫煙経験者は必ずといっていいほど内頸動脈にプラークが見つかる。こういう人は脳CT検査では異常は見つからないことが多い。強力な降圧剤でも血圧が安定しない人が時々ある。頸動脈にプラークを発見し、抗凝血療法を行うと血圧が安定し、中には降圧剤が不要になった人もある。もちろん高血圧の症状である頭痛、ふらつき、気分不良もきれいに消える。

森医院のホームページ(病気の解説Ⅷ 頸動脈アテローム血栓症)に頸動脈エコーでプラークの発見された方の画像を供覧しています。ぜひ一度ホームページをご覧ください。

職員紹介

初めまして、看護師の柳生恵(なぐさ けい)です。和田山町から通い始めて早2ヵ月が過ぎました。行き届かないことも多々あると思いますが、早く慣れて皆様のお役に立ちたいと思っています。家族は4人(夫と小中学生の男の子2人)。趣味は10年前から息子と一緒に習い始め、ピアノを弾くこと、そして花を育てることも大好きです。これからよろしくお願いします。



テレフォンサービス

☎ 通話料無料 0120-979-451
(携帯電話からはご利用いただけません)

《4月のテーマ》

月曜日	アレルギー性鼻炎
火曜日	歯磨きしても虫歯になるのは何故
水曜日	健康的に肥満を解消するには
木曜日	アレルギー性結膜炎
金曜日	シミ・そばかすのケア

《5月のテーマ》

月曜日	生理痛について
火曜日	フッ素で虫歯予防
水曜日	中高年がスポーツをする際の注意点とストレッチ
木曜日	痔を切るとき、切らないとき
金曜日	PTSD(外傷後ストレス障害)

※祝祭日は前日のテープが流れます

院長



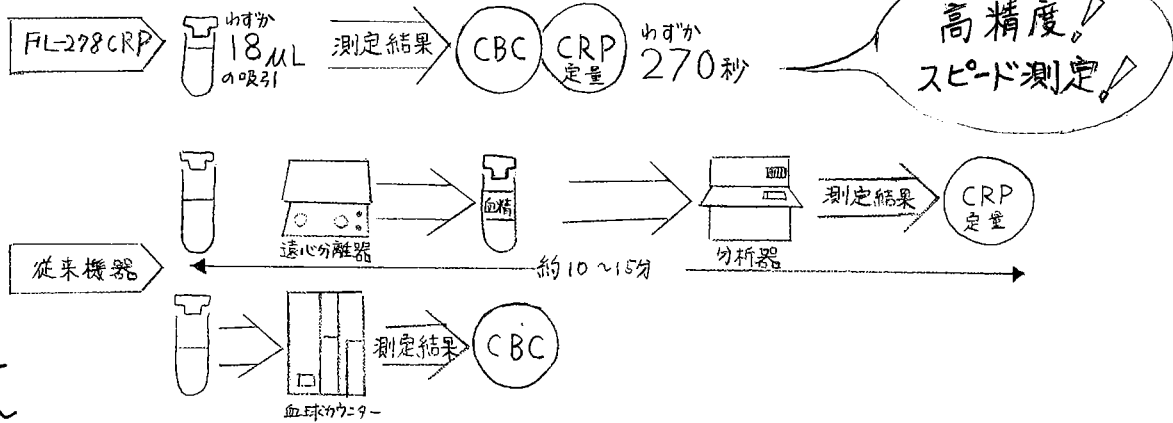
ふれあいボックス

花はぼるへ
夢に寝返り
打つときか

新しい機器の紹介

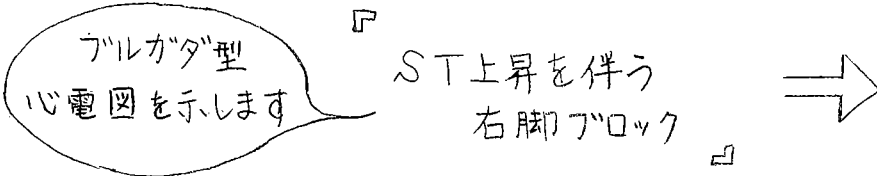
① 自動血球計数・CRP測定装置 ⇒ すぐに結果が出ます

血球計数(赤血球・白血球・血小板・血色素・ヘマトクリット)に加えCRP(C反応性蛋白)測定範囲が、従来器の2倍(10mg/dl → 20mg/dl)にまで拡大され、さらに詳細な状態把握が可能となり、感染症・炎症の早期発見、診断ができます。



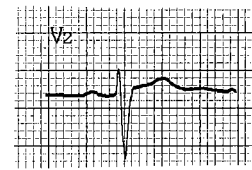
② 多機能心電計

・最近の心電図トピックス。心突然死予知の評価基準『ブルガダ型心電図波形』を自動検出できるプログラムを搭載。

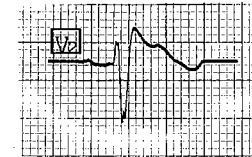


- ・胸部誘導でST上昇を示す右脚ブロックが特徴的です。
- ・中年以後の男性に多く、突発性の心室頻拍や心室細動など原因不明の失神発作をひき起こしやすく、ブルガダ症候群と呼ばれます。

- ・パソコンで心電図をデジタル管理できます。
- ・運動負荷テスト機能が可能
- ・その他、多彩で役立つ機能満載しています。



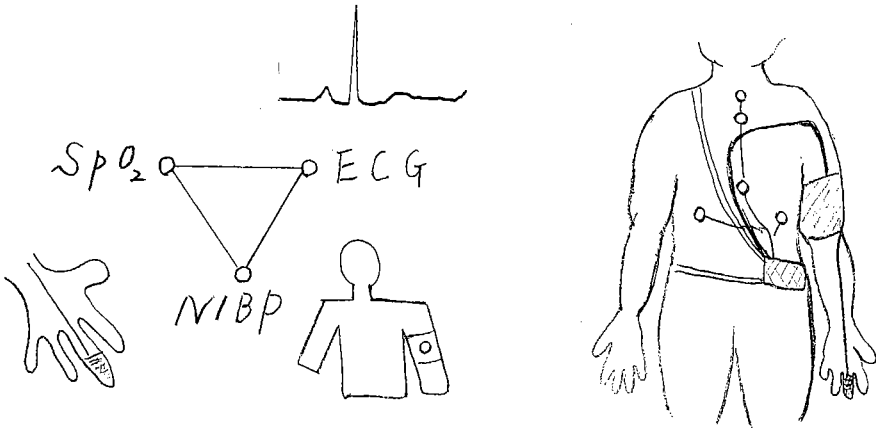
⇒ 正常波形



⇒ ブルガダ型波形

③ デジタルホルター記録器

- ・25時間の心電図・血圧・SpO₂(動脈血酸素飽和度)を同時に記録することができます。
- ・呼吸循環器系で幅広く活用できます。
- ・睡眠時無呼吸症候群の簡易判定として役立ちます。
- ・重さ280gとコンパクトサイズ(従来の物より軽量になっています。)



♡ 編集後記 ♡
 ♪ 昨年から今年にかけて台風・地震・インフルエンザの大流行...と、つらい思いをされた方もたくさんおられたのではないのでしょうか。心からお見舞い申し上げます。
 ♪ 但馬にもようやく春が訪れ、心はずむ季節...と。言いたいところですが、今年の花粉症状のきつくて重いこと。なんとか踏んばってこの時期を乗りこえたいものですね。
 ♪ たんぽぽ次回は7月発行予定です。
 ♪ 皆様からのいろいろなお便りをお待ちしています。